

2019年(令和元年)  
8月27日 第7号

各面の内容  
2、3 スポーツと音楽の祭典  
4、5 クライミングに挑戦



7 パラ選手にインタビュー  
オリンピック・パラリンピック子ども新聞は、子どもたちが記者になって取材や写真撮影に取り組み、みなさまにおどける新聞です。

# ラグビーW杯楽しみ

9月20日に開幕するラグビーワールドカップ(W杯)2019日本大会まで約100日となった6月9日、文京区教育の森公園と文京スポーツセンターで「BUNKYO RUGBY DAY」が開かれました。

## トップ選手招き 100日前イベント

ルール分かなりやすく  
とくべつゲストはトップリーグのリコーブラックラムズの小松大祐選手、福本翔平選手、ロトアヘア・アマナキ大洋選手、吉村公太郎選手、OBの大山大地さん、トヨタ自動車ヴェルブリッツの垣本竜哉選手、浅岡俊亮選手、高橋汰地選手、福田健太選手、OBの松下馨さん、平野航輝さん、そして元日本代表の大西将太郎さんです。大西さんは初めてラグビー観戦のコツや分かりやすいルールをしようかいてくださいました。  
ラグビーワールドカップ2019日本大会公式マスコットキャラクターもゲストで参加。かみの白い方が親の「レン」、赤い方が「ジ」。東京都スポーツ推進大使の「ゆり」とも、とくべつユニホームでさんかしていただきました。(小6/H・K)



ジャンピングトライを体験

### ジャンプしてトライ

トヨタの松下さんと平野さん、リコーの吉村さんとふく本さんは反則のプレーなどのルールを、ボールを使ってさいげんしてくれました。よく分かる説明で、ラグビーにきょうみがわきました。  
ジャンピングトライ体験ではボールを持ちながら走ってボールをこぼさないようにマットの上にジャンプしました。ラインアウト体験は2人の選手が体を持ち上げてくれて、3人目の選手がボールを投げてそれを自分がキャッチする。タックルマシンのマネキンの体をおして、力が何もあるかはかる体験もありました。ラグビーとかかわりのなかった私でもラグビーを楽しむことができ、とてもよかったです。(小5/F・S)



ラインアウトでボールをキャッチ。高くてちょっと怖い

高さ3人でキャッチ  
ジャンピングトライの体験の時、ボールの表面がざらざらしていて持  
リコーとトヨタの選手の答えに共通点があったことに、おどろきました。日本でラグビー・ワールドカップが開きいされることによって、練習の方針や考え、気持ちの変化があったか聞いたところ、どちらもラグビーそのものを、もっとたくさんの人に知ってもら

### 見て楽しい試合を

い、日本のラグビーを盛り上げるためにも、「おもしろい、見て楽しい」と感じてもらうようなレベルの高い試合を心がけているということです。また、そのような試合を実現できるよう日々から良いチーム作りにはげんでいるそうです。(中1/T・O)

ラグビーワールドカップ2019日本大会  
9月20日の日本対ロシア(東京スタジアム)で開幕。20チームが参加し、全国12会場で計48試合が行われる。決勝は11月2日。



### メンバー全員「かけがえのない存在」

元日本代表の大西さんは選手から解説者になったことで「一人でも多くの人にラグビーを知ってもらおう」ことに視点が変わったといいます。また、2007年ワールドカップでの経験をふまえ、いろいろな場面を想定して「きちんと準備」することが大切だと教えてくださいました。テスト勉強など私たちの生活にも当てはまる場面は多くあります。  
リコーの福本選手は「チームでかけがえのない存在」についてチームのメンバー全員だと答えました。ラグビーに「One for All, All for One」(ひとはみんなのために、みんなはひとりのために)という精神があるからこそその答えでした。日本代表のみならず、20カ国・地域全ての活躍を期待したいです。(高2/K・S)

トヨタの選手に取材する子どもたち

教育プログラム [よい、ドン!]  
TOKYO 2020  
TOKYO 2020 PARALYMPIC GAMES